



令和2年度

第2回医療・介護多職種連携会議 (在宅医療に従事する人材育成研修会)



日時 : 令和2年12月15日(火)

18:30~20:30

場所 : 老人保健施設くろかみ会議室 JA阿新生活センター2階会議場
新見市地域福祉センター ケアキャビネット会議室

主催 新見市在宅医療・介護連携支援センターまんさく

共催 一般社団法人 岡山県介護支援専門員協会新見支部

令和2年度 第2回医療・介護多職種連携会議 次第
(在宅医療に従事する人材育成研修会)

日時： 令和2年12月15日(火) 18:30～20:30

場所： 第1会場 老人保健施設くろかみ 会議室
第2会場 JA阿新生活センター2階 会議場
第3会場 新見市地域福祉センター
ケアキャビネットによるリモート参加

1 開 会

2 あいさつ 一般社団法人 新見医師会 会長 太田隆正

3 講 演

「コロナ禍における生活習慣病の変化と戦い方」

太田病院 院長 太田徹医師

4 意見交換

「コロナ禍の中での多職種連携」

5 伝達・紹介

1) 「ブラウンバック運動について」

新見支部薬剤師会 そうごう薬局新見店 薬剤師 川本和明様

2) 「医療・介護れんらく帳スタンプラリーについて」

新見地域ネットワーク 会長 小林まり子様

3) 「認知症ケアパスの利用について」

新見市在宅医療・介護連携支援センターまんさく 難波美保子

4) 「かんたん筋トレで体力を維持しましょう！」

新見市健康づくり連絡会 高齢者部会 保健師 安達彩永様

6 あいさつ

一般社団法人 岡山県介護支援専門員協会新見支部

支部長 清水知行様

7 閉 会

年末年始、家のお薬も整理整頓しませんか？

高梁

新見

ブラウンバッグ運動 集中取組中！

令和2年11月1日～令和3年3月31日

家のお薬を
バッグにまとめる



バッグを薬局に
持って行く






ブラウンバッグ運動とは？

薬局から患者さんへ袋を提供し、
自宅の薬を持参していただいて
薬剤管理を行う取組のことです。
「ブラウンバッグ」という名称は、
1990年代にアメリカで茶色い袋
が使われていたことに由来します。

薬剤師が、
お持ちいただいた
お薬を確認して
整理します。

バッグは、
このチラシの裏面
に掲載されている
薬局でもらえます。

-  薬を飲み忘れることがあって、だんだん余ってきている。
→薬を処方する医師に相談して、次回お渡りする量の調整を検討します。
-  昔もらった薬が残っているけど、何の薬だったか覚えていない。
→薬の用法や使用期限、今後また飲んでも良いかを確認します。
-  市販の薬やサプリメントも飲んでいるけど、問題ない？
→お薬同士の飲み合わせに問題がないかを確認します。

お薬の整理は、飲み間違いなどの事故防止にも繋がります。

注意事項 お薬の整理を行うにあたって、患者様に費用負担が発生することがあります。ただし、お薬を整理する効果として、全体の自己負担額は安くなることが多いと考えられます。費用のことについては、薬局でお尋ねください。

ブラウンバッグ運動の集中取組に参加している薬局の一覧(50音順)

高梁市(市外局番0866)

薬局名	住所	電話番号
エスマイル薬局 高梁店	南町79-1	21-2520
エスマイル薬局 成羽店	成羽町下原412	42-5001
おがわ薬局	落合町阿部599-19	23-0987
落合薬局	落合町阿部1676-5	22-8055
クオール薬局 高梁店	落合町阿部2143-5	21-0889
クオール薬局 高梁南町店	南町79	21-2181
成羽かわかみ薬局	成羽町下原326-1	42-3127
のぞみ薬局	東町1898-4	22-0716
マスカット薬局 高梁店	柿木町20-1	21-2122

新見市(市外局番0867)

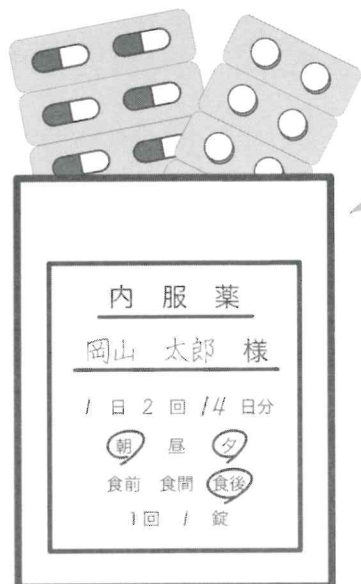
薬局名	住所	電話番号
阿新薬局 インター店	高尾792-7	72-6566
阿新薬局 駅前店	西方436-3	71-0017
阿新薬局 高尾店	高尾2488-11	72-6088
井上薬局 本店	新見879	72-0034
ウエルシア薬局 新見高尾店	高尾789-1	72-6831
さくら薬局 新見店	新見820	72-1591
そうごう薬局 新見店	高尾2292-1	71-2151
新見堂薬局	新見988	72-0372
西井山陽堂薬局	新見743-1	72-0122
ゆずりは薬局	石蟹65-5	76-2355

●高梁・新見地域のブラウンバッグ運動集中取組に関するお問い合わせ先

岡山県庁 医療推進課 〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6 電話:086-226-7321 FAX:086-224-2313

フラウンバッグに入れるもの

□ 現在、服用中の薬



医療機関からもらった袋に入っている薬は袋ごとバッグに入れてください。

服薬カレンダーを利用している方は、これまでに飲み忘れた分を取り出してバッグに入れてください。（これから飲む予定の薬は、出さなくて良いです。）

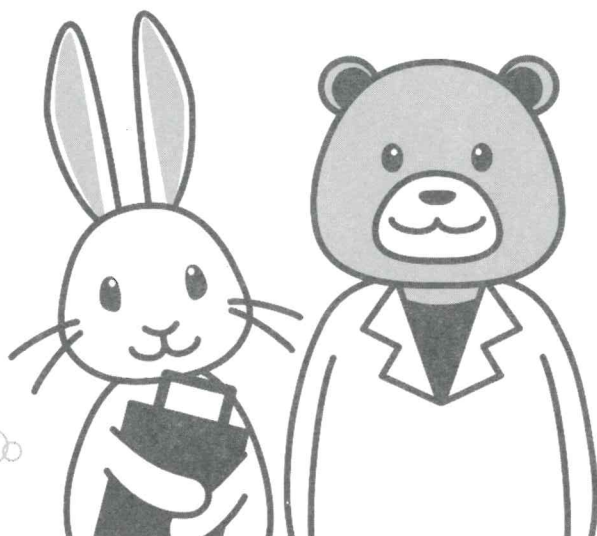
	朝	昼	夜	ねる前
日				
月				
火				
水				
木				
金				
土				

□ 昔、医療機関でもらった薬（何の薬が分からなくなったものなど）

□ 市販の薬（普段、自分が使っているもの）

□ サプリメント、栄養剤

お薬手帳があれば、一緒に持ってきてくださいね。



新見市限定



かかりつけ 医 ケア マネジャー 緊急時
あなたのことを伝える

参加無料!
申込不要!

医療・介護

れんらく帳

一緒に持ち歩こう!

スタンプラリー

令和2年11月1日(日) ▶ 令和3年3月31日(水)

参加方法

1. 病院、診療所、薬局、地域包括支援センター等でスタンプ台紙を受け取る。
※スタンプ台紙は1人1枚
2. スタンプ台紙に、氏名を記入する。
3. 切り離して、【医療・介護れんらく帳】・【保険証】・【お薬手帳】と一緒に持ち歩く。
4. 病院や診療所、薬局の窓口でスタンプを押印してもらう。
5. スタンプが10個たまったら、薬局で景品を受け取る。(先着順)

景品 にーみんボールペン
※ボールペンの色は選べません。

先着 300名



医療・介護 れんらく帳
一緒に持ち歩こう!
スタンプラリー

1	6
2	7
3	8
4	9
5	10 景品プレゼント

実施期間 令和2年11月1日(日)～令和3年3月31日(水)

お問い合わせ 新見地域医療ネットワーク 事務局 地域包括支援センター
新見市新見310-3 TEL:0867-72-6209

主催/新見地域医療ネットワーク、新見市在宅医療・介護連携推進協議会

ふりがな
お名前



認知症ケアパス

新見版

認知症ケアパス(二部抜粋)

みんなで広げよう
支援の輪

認知症の進行と主な症状 チェック項目にチェックがついた方は、早めに新見市地域包括支援センターにご相談下さい。

		軽度認知障害(MCI)	軽度認知症	中等度認知症	高度認知症	
		認知症の疑い	日常生活は自立	誰かの見守りがあれば 日常生活は自立	日常生活に手助けや 介助が必要	常に介助が必要
本人の様子	チェック項目→	<input type="checkbox"/> 同じことを何度も繰り返し聞く <input type="checkbox"/> 日付や曜日がわからなくなる <input type="checkbox"/> 疑い深くなったり、怒りっぽくなる <input type="checkbox"/> 好きなことに興味がなくなる <input type="checkbox"/> 探し物をしていて、何を探していたのか思い出せない	<input type="checkbox"/> 同じ物を買ってくる <input type="checkbox"/> 計画や段取り通りに行動できない <input type="checkbox"/> 約束を忘れる <input type="checkbox"/> 料理の品数が減ったり、味付けが変わる	<input type="checkbox"/> 知っている場所で迷子になる <input type="checkbox"/> 季節に合った服が着られない <input type="checkbox"/> 着替えや入浴を嫌がる <input type="checkbox"/> 徘徊が見られるようになる <input type="checkbox"/> すぐ興奮する	<input type="checkbox"/> トイレの失敗をする <input type="checkbox"/> 家族の顔や人間関係がわからなくなる <input type="checkbox"/> 話さなくなる <input type="checkbox"/> 使い慣れた道具の使い方がわからなくなる <input type="checkbox"/> 寝たきりになり、食べ物が食べられなくなる	
家族の心構え		<ul style="list-style-type: none"> ●地域行事やボランティアなど社会参加を働きかける ●趣味やレクリエーションを楽しむように働きかける ●家庭内でも役割を持ち、継続できるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ●接し方の基本的なコツを理解する ●家族間で介護のことについて話し合っておく ●相談窓口を見つける 	<ul style="list-style-type: none"> ●介護者自身の健康管理を行う ●介護サービスを上手に利用する 	<ul style="list-style-type: none"> ●合併症を起こしやすくなることを理解しておく ●どのような終末期を迎えるか家族間で話し合っておく 	
ひとり暮らし		可能		生活困難になってくる		
専門職の関わり		早めに相談	必要になってくる	必要		

早期発見 **プラス1** 早期治療で改善も期待できる
 認知症の原因になる病気はさまざまですが、早期に発見し早期に治療をはじめると、改善が期待できるものもあります。

進行を遅らせることができる **プラス2**
 認知症の症状が悪化する前に適切な治療やサポートを行うことによって、その進行のスピードを遅らせることができる場合があります。

事前にさまざまな準備ができる **プラス3**
 早期発見によって、症状が軽いうちに本人や家族が話し合い、今後の治療方針を決めたり、利用できる制度やサービスを調べたりする「認知症に向き合うための準備」を整えることができます。

毎日 コツコツ

新型コロナウイルスの感染拡大で、外出を控えていませんか？
家に閉じこもりがちな状態が長期化すると、体力の低下が心配されます。

かんたん筋トレで体力を維持しましょう！

息を止めずに、かずに数えながら  部分の筋肉を意識しながら行いましょう！



感染症の予防やコロナ禍での健康管理のポイントを紹介します！

“正しい”手洗いを“ていねいに”しよう！

爪は短く切り、時計や指輪は外しておきましょう！



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのばすようにこすります。



指先、爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗いします。

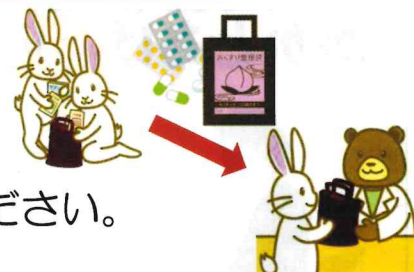


手首も忘れずに洗います。

岡山県看護協会 新見支部

おうちに残っているお薬はありませんか？

- ・飲み忘れてしまい、薬が余っている
 - ・薬が多くて整理できない
 - ・昔もらった薬で何のお薬かわからない
- など、薬の整理をご希望の方は薬局にご相談ください。



お薬を持参して頂くための「ブラウンバッグ」をお渡しし、お持ち頂いたお薬を薬剤師が確認して整理します。

薬剤師会 新見支部

医療・介護 れんらく帳を 保険証やお薬手帳と一緒に持ち歩きましょう！

医療・介護 れんらく帳は、
医療や介護の関係者が連携するためのものです。

【医療・介護 れんらく帳をもらうには】

- ・介護サービス利用者の方：ケアマネージャー
- ・上記以外の希望者：地域包括支援センター
各支局
かかりつけ薬局等



新見市地域包括支援センター・新見市在宅医療 介護連携支援センター まんさく



本日はお忙しい中、第2回多職種連携会議にご参加くださりありがとうございました。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、例年のような規模での研修会の開催が難しく、開催回数も減らせて頂いております。また、第1回多職種連携会議はケアキャビネットを使用してのリモート会議での開催でしたので、ケアキャビネットご契約事業所様のみへのご案内となり、広く皆様にご連絡できませんでしたことを心苦しく感じております。大変申し訳ありませんでした。なお、リモート会議の開催の様子やアンケート結果は「新見地域在宅医療支援システム研究会ホームページ」に公開しておりますので是非ご覧ください。

第1回多職種連携会議の反省点や参加者の皆様から頂いたご意見を踏まえて、今回の第2回多職種連携会議は「会場参加とリモート参加を併せる形」で開催いたしました。

これからの研修会の開催にはICTの活用を切り離して考えることができない現状があります。まだまだ不慣れで、皆様にはご迷惑をおかけすることが多いと存じますが、今後ともご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

新見市在宅医療・介護連携支援センターまんさく
難波美保子